

記入例

・学校が入力する箇所を「青」で表記しています。

令和6年度初任者研修年間指導計画・報告書

教職大学院修了者は「セルフ7」の

学校名 岩手県立●●支援学校
校長名 ◇◇ ◇◇

- 1 初任者 職員番号・氏名（教科） 123456・○○ ○○（小学部）
2 指導教員 校内指導教員 職・氏名 教諭・▲▲ ▲▲
教科指導員 職・氏名 講師・□□ □□
3 年間指導計画

育成指標		特別支援学校教諭 研 修 項 目	指導担当	指 導 時 間												合計	確認 欄
				4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月			
教員としての素養		・教員としての心構え	校長	1										0.5	1.5	選択済	
		・教職員の福利厚生	事務長	0.5											0.5	選択済	
		・男女共同参画の推進	教務主任				0.5								0.5	選択済	
		・研究と修養の意義	指導教員	1										0.5	1.5	選択済	
		・教員としての服務	副校長	0.5										0.5	1	選択済	
カリキュラム・ マネジメント	・教育課程の理解と年間指導計画の作成	教務主任	1					1							2	選択済	
	・消費者教育の進め方	教務主任									1				1	選択済	
	・環境教育の進め方	教務主任									1				1	選択済	
	・学校全体で進める道徳教育	教務主任	0.5									1			1.5	選択済	
	・主権者教育の進め方	教務主任									1				1	選択済	
	・人権教育の進め方	教務主任									1				1	選択済	
	・健康教育の意義と進め方	保健主事									1				1	選択済	
	・食育の意義と進め方	栄養教諭・指導教員									1				1	選択済	
															0		
	学習指導 力	・教科指導の基礎技術	研究担当		0.5	1						1	1	1		4.5	選択済
・教材研究の進め方		研究担当		0.5		1	1	1	1					1	4.5	選択済	
・特別活動の指導の実際		指導教員		1											1	選択済	
・ICTを活用した教科指導の実際		情報部担当・教科担当	1.5	1	1	1	1	2	2	1	1	1	1	3	14.5	選択済	
・自立活動の進め方		指導教員	1					1				1			3	選択済	
確かな学力を育 む授業	・学習指導案の書き方	指導教員・教科担当			1	1	1	1	1						4	選択済	
	・授業参観の実施と振り返り	指導教員・教科担当	5	7	3	1	1	6	3	3	3	1	2	4	36	選択済	
	・研究授業の実施と振り返り	指導教員・教科担当							1						1	選択済	
	・授業における児童生徒理解	指導教員・教科担当			1	1					1	1			4	選択済	
	・評価問題の作成の仕方	指導教員・教科担当		0.5											0.5	選択済	
	・宿題と家庭学習の在り方	指導教員	0.5	0.5		0.5						0.5			2	選択済	
	・学習態度の指導	指導教員	0.5						0.5						1	選択済	
	・個別指導・グループ指導・一斉指導の仕方	指導教員		0.5		0.5									1	選択済	
	・通知表の作成の仕方	指導教員							0.5					0.5	1	選択済	
															0		

生徒指導力	発達支持的生徒指導	・多様性に配慮した集団指導と個別指導の方法と実際	指導教員		0.5										0.5	選択済	
		・学校における生徒指導体制	生徒指導主事		0.5											0.5	選択済
		・学校行事の指導の実際	指導教員	1	1	1	1	1				1	1	1		8	選択済
		・学級経営案の作成と評価	指導教員	0.5					0.5			0.5		0.5		2	選択済
		・学年経営と学級経営の関わり	学年主任	0.5											0.5		選択済
		・学級組織のつくり方と運営	指導教員		0.5				0.5							1	選択済
		・学級活動の指導の実際	指導教員		1					1				0.5		2.5	選択済
		・学級事務の進め方	指導教員	0.5				0.5				0.5	1	1		3.5	選択済
		・教室環境の在り方と整備	指導教員	0.5				0.5								1	選択済
		・部活動の指導の進め方	教務主任		0.5											0.5	選択済
		・(長期)休業中の生徒指導	生徒指導主事				0.5					0.5		0.5		1.5	選択済
		・学部運営と学年経営の関わり	学部主事	0.5												0.5	選択済
	いじめ等の問題行動・不登校等への対応	・不登校児童生徒への対応	生徒指導主事		0.5											0.5	選択済
		・問題行動の理解と指導の進め方	生徒指導主事		0.5						1					1.5	選択済
		・いじめ防止とその対応	生徒指導主事		0.5											0.5	選択済
	教育相談	・児童生徒のほめ方・叱り方	指導教員		0.5				0.5						0.5	1.5	選択済
		・教育相談体制の理解	指導教員		0.5											0.5	選択済
	マネジメント力	学校組織における連携・協働	・学校教育目標と経営の重点	校長	0.5											0.5	選択済
			・学校の組織と運営	副校長	0.5												0.5
・特別支援教育就学奨励費等の手続き			事務長	0.5												0.5	選択済
・文書処理の進め方			指導教員	0.5												0.5	選択済
・他学部・校舎・分教室の組織と運営			指導教員				1									1	選択済
・学校と寄宿舎との連携の進め方			寮務主任・指導教員					1								1	選択済
危機管理		・学校安全の意義と進め方	安全担当			1		1			1			1		4	選択済
		・医療的ケア・危機対応の実際	医療的ケア担当・安全担当	0.5			1									1.5	選択済
関係者等との連携・協働		・PTAの組織と運営	指導教員		0.5											0.5	選択済
		・地域社会における組織、関係機関の役割と連携・協働の実際	指導教員				1					1				2	選択済
	・保護者との面談や保護者会、家庭訪問の進め方	指導教員	0.5						0.5					0.5	1.5	選択済	
復興教育の視点	・「いわての復興教育」の実際	教務主任				1				1					2	選択済	
															0		
キャリア教育の視点	・キャリア教育の意義と進め方	研究担当					1				1				2	選択済	
															0		
特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への教育の視点	・「いわて特別支援教育推進プラン」の実際	教務主任		1											1	選択済	
	・心理検査法の実際	相談支援担当					3								3	選択済	
	・個別の指導計画等作成と活用	指導教員	1	1					1	1			1	1	6	選択済	
	・合理的配慮の意義	教務主任	0.5												0.5	選択済	
	・交流及び共同学習の意義と実際	指導教員		0.5		1					1			0.5	3	選択済	
ICTや情報・教育データの利活用の視点															0		
	・ICTや情報・教育データの利活用、校務等で積極的・効果的活用	指導教員													0		
校内研修の時数合計				21	22	13	14	8	15	16	10	8	8	15	150		
校外研修の日数を記入				3			3		3			3	3			15	
4 成果と課題																	
成果																	
課題																	

・報告時に記入する箇所及び計画から変更した箇所を「赤」で表記しています。

令和6年度初任者研修年間指導計画・報告書

学校名 岩手県立●●支援学校
校長名 ◇◇ ◇◇

- 1 初任者 職員番号・氏名（教科） 123456・○○ ○○（小学部）
2 指導教員 校内指導教員 職・氏名 教諭・▲▲ ▲▲
教科指導員 職・氏名 講師・□□ □□
3 年間指導計画

育成指標	特別支援学校教諭 研 修 項 目	指導担当	指 導 時 間												合計	確認 欄	
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月				
教員としての素養	・教員としての心構え	所属学部での必要性及び研修者の体 調不良を勘案し、内容を精選して研修 時間を減。												0.5	1.5	選択済	
	・教職員の福利厚生														0.5	選択済	
	・男女共同参画の推進														0.5	選択済	
	・研究と修養の意義													0.5	1.5	選択済	
	・教員としての服務													0.5	1	選択済	
カリキュラム・ マネジメント	・教育課程の理解と年間指導計画の作成	教務主任	1				1								2	選択済	
	・消費者教育の進め方	教務主任							0.5						0.5	選択済	
	・環境教育の進め方	教務主任								1					1	選択済	
	・学校全体で進める道徳教育	教務主任	0.5								1				1.5	選択済	
	・主権者教育の進め方	教務主任							0.5						0.5	選択済	
	・人権教育の進め方	教務主任								1					1	選択済	
	・健康教育の意義と進め方	保健主事								1					1	選択済	
	・食育の意義と進め方	教諭・指導教員								1					1	選択済	
学習指導 力	教科教育等の専門性	生徒児童の教育的ニーズ から、研修時間を増。													0		
			・教科指導の基礎技術	指導担当		0.5	1					1	1	1		4.5	選択済
			・教材研究の進め方		0.5			1	1	1				1		4.5	選択済
			・特別活動の指導の実践	指導教員		1										1	選択済
			・ICTを活用した教科指導の実践	情報部担当・教科担当	1.5	1	1	1	1	2	1	1	1	1	3	14.5	選択済
確かな学力を育 む授業	・自立活動の進め方	指導教員	1		1			1				1			4	選択済	
	・学習指導案の書き方	指導教員・教科担当			1	1	1	1	1						4	選択済	
	・授業参観の実施と振り返り	指導教員・教科担当	5	7	3	1	1	6	3	3	1	2	4	36	選択済		
	・研究授業の実施と振り返り	指導教員・教科担当							1						1	選択済	
	・授業における児童生徒理解	指導教員・教科担当			1	1					1	1			4	選択済	
	・評価問題の作成の仕方	指導教員・教科担当		0.5											0.5	選択済	
	・宿題と家庭学習の在り方	指導教員	0.5	0.5		0.5					0.5				2	選択済	
	・学習態度の指導	指導教員	0.5					0.5							1	選択済	
	・個別指導・グループ指導・一斉指導の仕方	指導教員		0.5		0.5									1	選択済	
	・通知表の作成の仕方	指導教員						0.5					0.5		1	選択済	
														0			

生徒指導力	発達支持的生徒指導	・多様性に配慮した集団指導と個別指導の方法と実際	指導教員		0.5										0.5	選択済	
		・学校における生徒指導体制	生徒指導主事		0.5											0.5	選択済
		・学校行事の指導の実際	指導教員	1	1	1	1	1			1	1	1		8	選択済	
		・学級経営案の作成と評価	指導教員	0.5					0.5			0.5		0.5		2	選択済
		・学年経営と学級経営の関わり	学年主任	0.5												0.5	選択済
		・学級組織のつくり方と運営	指導教員		0.5				0.5							1	選択済
		・学級活動の指導の実際	指導教員		1					1				0.5		2.5	選択済
		・学級事務の進め方	指導教員	0.5								0.5	1		0	2.5	選択済
		・教室環境の在り方と整備	指導教員	0.5												1	選択済
		・部活動の指導の進め方	教務主任		0.5											0.5	選択済
いじめ等の問題行動・不登校等への対応	・(長期)休業中の生徒指導	生徒指導主事				0							0.5		1.5	選択済	
	・学部運営と学年経営の関わり	学部主事	0.5												0.5	選択済	
		生徒指導													0.5	選択済	
教育相談	・児童生徒のほめ方・叱り方	指導教員		0.5		2		0.5					0.5		3.5	選択済	
	・教育相談体制の理解	指導教員		0.5											0.5	選択済	
マネジメント力	学校組織における連携・協働	・学校教育目標と経営の重点	校長	0.5											0	選択済	
		・学校の組織と運営	副校長	0.5												0.5	選択済
		・特別支援教育就学奨励費等の手続き	事務長	0.5												0.5	選択済
		・文書処理の進め方	指導教員	0.5												0.5	選択済
		・他学部・校舎・分教室の組織と運営	指導教員			1	0									1	選択済
		・学校と寄宿舎との連携の進め方	事務主任→指導教員													0	選択済
	危機管理	・学校安全の意義と進め方	安全担当		1		1									4	選択済
		・医療的ケア・危機対応の実際	医療的ケア担当・安全担当	0.5		1										1.5	選択済
	関係者等との連携・協働	・PTAの組織と運営	指導教員		0.5											0.5	選択済
		・地域社会における組織、関係機関の役割と連携・協働の実際	指導教員			1						1				2	選択済
復興教育の視点	キャリア教育の視点	・保護者との面談や保護者会、家庭訪問の進め方	指導教員	0.5				0.5					0.5		1.5	選択済	
		・福祉事業所との連携の実際（放課後等デイサービス等）	指導教員				1								1	選択済	
	・「いわての復興教育」の実際	教務主任			1					1					2	選択済	
	特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への教育の視点	・キャリア教育の	研究担当				1				1				2	選択済	
		・いわて特別支	教務主任		1											0	選択済
	ICTや情報・教育データの活用	・心理検査法の実際	相談支援担当													1	選択済
		・個別の指導計画等作成と活用	指導教員		1											3	選択済
		・合理的配慮の意義	教務主任	0.5												0.5	選択済
		・交流及び共同学習の意義と実際	指導教員		0.5	1					1			0.5		3	選択済
	ICTや情報・教育データの活用	・ICTや情報・教育データの利活用、校務等で積極的・効果的活用	指導教員													0	選択済
															0	選択済	
校内研修の時数合計					21	22	14	15	9	15	14	10	8	8	14	150	
校外研修の日数を記入					3		3		3			3	3			15	
4 成果と課題																	
成果	指導教員をはじめ校内体制で各研修項目について校内研を構成したにより、幅広く具体的な知識や実践力等を身に付けることができた。学校の特徴等を踏まえながら、必要な研修項目を位置付けたことにより、多様な場面で意欲的に取り組む姿につなげることができた。教育センター等の校外研修では、専門的かつ最新の教育動向について各校の初任者と共に学び、考えを分かち合い、見聞を広めることができた。																
課題	各教科等を合わせた指導、各教科等の授業の改善に向けて、理論的かつ実践的な研修を積み重ねていくことが必要である。																

令和6年度初任者研修校内研修の指導の記録（参考例）

・学校が入力する箇所を「青」で表記しています。

学 校 名 ●●立●●学校
校 長 名 ◇◇ ◇◇
校内指導教員名 ◆◆ ◆◆
初 任 者 名 ◎◎ ◎◎

月日（曜日）	内 容 等	指導者名	指導時間
4月〇日（□）	「学校における生徒指導体制」、「いじめ防止とその対応」について、学校指導計画及び『生徒指導提要』、『いわて・「いじめ問題」防止・対応マニュアル』等を活用して研修を実施。	生徒指導主事	1
4月〇日（□）	「評価問題の作成の仕方」、「宿題と家庭学習の在り方」について、児童の様子を基に、他教員の実践をまじえながら実践的な研修を実施。	指導教員・教科担当	1
4月〇日（□）	当該児童の宿題等について、今学期の大まかな計画を立て、宿題を実際に作成。	指導教員	1
4月〇日（□）	「生活単元学習」の参観を行い、その後、当該児童の様子に応じた目標・内容等を確認しながら授業の振り返りを実施。	指導教員・教科担当	1

2月〇日（□）	「初任者研修修了式」を実施し、1年間の研修の取組及び研修者自身の成長、次年度以降の取組を確認。	指導教員・学年主任 ほか	1
時数合計			150

※ 書式は参考例であり、各学校は、各学校種及び学校の実情に応じて書式を工夫して作成すること。

【記入上の留意点】

- 1 「指導の記録」は、校内指導教員、拠点校指導教員、教科指導員、他の教員などが行ったすべての校内研修について、校内指導教員が作成する。
- 2 初任者1名につき、1葉の記録を作成する。
- 3 指導内容は、以下を参考に簡潔に記録すること。
 - ・指導教員などによる指導授業や講義・講話等
 - ・初任者による授業参観、研究授業、授業の振り返り等
 - ・資料等の作成や情報交換等
- 4 指導時間は、小学校は45分を、中学校及び高等学校は50分を1単位時間として記録すること。

・学校が入力する箇所を「青」で表記しています。

学校名 岩手県立●●支援学校
校長名 ◇◇ ◇◇

1	対象者 職員番号・氏名	122345・〇〇 〇〇
2	採用年度	令和〇年度
3	担当学年・教科等	中学部1年知的通常学級（担任）・作業学習、国語、数学等
4	担当教員 職・氏名	教諭・□□ □□
5	自己研修のテーマ	状況に応じた主体的な行動を目指して～得手や不得手、行動特徴等の理解を通して～
6	年間研修計画	

		特別支援学校教諭 研 修 項 目	実施機関	授業研修・自己研修に時数を記入 報告時には実施項目に○を記入
教員としての素養		・自己研修の推進(5時間程度) ・採用2年目の教員に期待すること ・自己研修の発表と協議	所属校 教育センター 教育センター	5
学習指導力	カリキュラム・マネジメント	・発達障がいのある児童生徒の理解と支援 ・重度・重複障がいのある児童生徒の理解と支援	教育センター 教育センター	
	教科教育等の専門性	・自立活動の指導の基本 ・教科の目標等を踏まえた指導と評価	教育センター 所属校	
	確かな学力を育む授業	・校内授業研修【 】(5時間程度)	所属校	5
		教材研究		1
		指導案作成、検討		1
		研究授業		1
		授業研究会		1
		授業の振り返り		1
		・特別支援学校における授業づくりの実際(授業参観)	教育センター	
		・児童生徒の主体的な取組を支援する授業づくり(授業研究会)	教育センター	
		・インクルーシブ教育システム推進の視点からの授業改善	教育センター	
生徒指導力	発達支持的生徒指導	・望ましい関わりを目指すティーチャーズ・トレーニングの実際	教育センター	
	いじめ等の問題行動・不登校等への対応	・いじめ防止と対応の進め方	教育センター	
	教育相談	・カウンセリング技法の基礎・基本 ・教育相談の進め方	教育センター 教育センター	
マネジメント力	学校組織における連携・協働			
	危機管理	・非常災害時に役立つ技術「避難所運営体験活動演習」 ・事件・事故災害発生時の危機管理	教育センター 教育センター	
	関係者等との連携・協働			
復興教育の視点		・「いわての復興教育」の在り方	教育センター	
キャリア教育の視点		・特別支援学校におけるキャリア教育の実際	教育センター	
特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への教育の視点				
ICTや情報・教育データの利活用の視点		・ICTや情報・教育データの利活用、校務等で積極的・効果的活用	所属校	
時数合計				10

7 成果と課題

成果	
課題	

・報告時に記入する箇所及び計画から変更した箇所を「赤」で表記しています。

学校名 岩手県立●●支援学校

校長名 ◇◇ ◇◇

1	対象者 職員番号・氏名	122345・○○ ○○
2	採用年度	令和○年度
3	担当学年・教科等	中学部1年知的通常学級(担任)・作業学習、国語、数学等
4	担当教員 職・氏名	教諭・□□ □□
5	自己研修のテーマ	状況に応じた主体的な行動を目指して～得手や不得手、行動特徴等の理解を通して～
6	年間研修計画	

		特別支援学校教諭 研 修 項 目	実施機関	授業研修・自己研修に時数を記入 報告時には実施項目に○を記入
教員としての素養		・自己研修の推進(5時間程度)	所属校	5
		・採用2年目の教員に期待すること	教育センター	○
		・自己研修の発表と協議	教育センター	○
学習指導力	カリキュラム・マネジメント	・発達障がいのある児童生徒の理解と支援	教育センター	○
		・重度・重複障がいのある児童生徒の理解と支援	教育センター	○
	教科教育等の専門性	・自立活動の指導の基本	教育センター	○
		・教科の目標等を踏まえた指導と評価	所属校	
	確かな学力を育む授業	・校内授業研修【 】(5時間程度)	所属校	5
		教材研究		1
		指導案作成、検討		1
		研究授業		1
		授業研究会		1
		授業の振り返り		1
		・特別支援学校における授業づくりの実際(授業参観)	教育センター	○
		・児童生徒の主体的な取組を支援する授業づくり(授業研究会)	教育センター	○
		・インクルーシブ教育システム推進の視点からの授業改善	教育センター	○
生徒指導力	発達支持的生徒指導	・望ましい関わりを目指すティーチャーズ・トレーニングの実際	教育センター	○
	いじめ等の問題行動・不登校等への対応	・いじめ防止と対応の進め方	教育センター	○
	教育相談	・カウンセリング技法の基礎・基本	教育センター	○
マネジメント力	学校組織における連携・協働			
	危機管理	・非常災害時に役立つ技術「避難所運営体験活動演習」	教育センター	○
		・事件・事故災害発生時の危機管理	教育センター	○
	関係者等との連携・協働			
復興教育の視点		・「いわての復興教育」の在り方	教育センター	○
キャリア教育の視点		・特別支援学校におけるキャリア教育の実際	教育センター	○
特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への教育の視点				
ICTや情報・教育データの利活用の視点		・ICTや情報	積極的・効果的活用 所属校	○
		校長としての視点で 所見を記入。	時数合計	10

7 成果と課題

成果	自己研修テーマに基づきながら、授業の改善を中心として1年間の研修に取り組み、理論と実践を結び付け、学習指導力の向上につなげることができた。質の高い授業を目指して実践を重ねることにより、授業を通した生徒指導の充実につなげることができた。
課題	道徳、領域についての学習指導力向上についての研修をさらに充実させていくことが必要である。

令和 6 年度 3 年目研修年間研修計画・報告書

・学校が入力する箇所を「青」で表記しています。

学校名 岩手県立●●支援学校

校長名 ◇◇ ◇◇

- 1 対象者 職員番号・氏名 112345・○○ ○○
2 採用年度 令和 3 年度
3 担当学年・教科等 中学部 2 年肢不通常学級 (担任) ・英語、道徳、特別活動等
4 担当教員 職・氏名 教諭・□□ □□
5 自己研修のテーマ 状況に応じた主体的な行動を目指して～得手や不得手、行動特徴等の理解を通して～
6 年間研修計画

		特別支援学校教諭 研 修 項 目	実施機関	校内授業研修に時数を記入 報告時には実施項目に○を記入
教員としての素養		・自己研修の推進(5時間程度) ・自己研修の発表と協議	所属校 教育センター	5
学習指導力	カリキュラム・マネジメント			
	教科教育等の専門性	・学習・生活場面におけるICT活用	教育センター	
		・道徳の教育と授業	教育センター	
	確かな学力を育む授業	・校内授業研修【道徳「自己を見つめ、自己の向上を図る」資料未定】(5時間程度)	所属校	5
		教材研究		1
		指導案作成、検討		1
		研究授業		1
		授業研究会		1
		授業の振り返り		1
		・学習指導と評価の要点	教育センター	
		・個に応じた指導の進め方	教育センター	
生徒指導力	発達支持的生徒指導			
	いじめ等の問題行動・不登校等への対応	・機能的アセスメントと行動支援計画の実際	所属校	
	教育相談			
マネジメント	学校組織における連携・協働			
	危機管理			
	関係者等との連携・協働	・保護者等と連携した交流及び共同学習の進め方	教育センター	
復興教育の視点				
キャリア教育の視点		・進路指導の意義と実際	教育センター	
特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への教育の視点		・交流及び共同学習の評価と改善	教育センター	
ICTや情報・教育データの利活用の視点		・ICTや情報・教育データの利活用、校務等で積極的・効果的活用	所属校	
時数合計				10

7 成果と課題

成果	
課題	

令和6年度3年目研修年間研修計画・報告書

・報告時に記入する箇所及び計画から変更した箇所を「赤」で表記しています。

学校名 岩手県立●●支援学校

校長名 ◇◇ ◇◇

- 1 対象者 職員番号・氏名 112345・○○ ○○
2 採用年度 令和3年度
3 担当学年・教科等 中学部2年肢不通常学級(担任)・英語、道徳、特別活動等
4 担当教員 職・氏名 教諭・□□ □□
5 自己研修のテーマ 状況に応じた主体的な行動を目指して～得手や不得手、行動特徴等の理解を通して～
6 年間研修計画

		特別支援学校教諭 研 修 項 目	実施機関	校内授業研修に時数を記入 報告時には実施項目に○を記入
教員としての素養		・自己研修の推進(5時間程度)	所属校	5
		・自己研修の発表と協議	教育センター	○
学習指導力	カリキュラム・マネジメント			
	教科教育等の専門性	・学習・生活場面におけるICT活用	教育センター	○
		・道徳の教育と授業	教育センター	○
	確かな学力を育む授業	・校内授業研修【道徳「自己を見つめ、自己の向上を図る」資料:中学道徳3】(5時間程度)	所属校	5
		教材研究		1
		指導案作成、検討		1
		研究授業		1
		授業研究会		1
		授業の振り返り		1
		・学習指導と評価の要点	教育センター	○
		・個に応じた指導の進め方	教育センター	○
生徒指導力	発達支持的生徒指導			
	いじめ等の問題行動・不登校等への対応	・機能的アセスメントと行動支援計画の実際	所属校	○
	教育相談			
マネジメント	学校組織における連携・協働			
	危機管理			
	関係者等との連携・協働	・保護者等と連携した交流及び共同学習の進め方	教育センター	○
復興教育の視点				
キャリア教育の視点		・進路指導の意義と実際	教育センター	○
特別な配慮や支援を必要とする児童生徒への教育の視点		・交流及び共同学習の評価と改善	教育センター	○
ICTや情報・教育データの利活用の視点		・ICTや情報	所属校	○
		的・効果的活用		
時数合計				10

校長としての視点で
所見を記入。

7 成果と課題

成果	教育センターでの校外研修と校内授業研修とを連動させて取り組むことにより、道徳の授業づくりについて理解を深め、実践に生かすことができた。行動等を見取ったうえで適切な指導と必要な支援を行うための理論を学ぶことにより、子ども理解を深めながら、集団指導における個別の支援を丁寧に行えるようになった。
課題	本人の高い意識と、校内の協力体制のもと、3年間の研修を終えることができた。今後も学び続ける姿勢をもち続けられるように、自己研修テーマを新たに設定しながらキャリアステージに応じた資質の向上に努めていくことが必要である。